

2018年 国立公園の訪日外国人利用者 動向について

満喫プロジェクトでは、国立公園の自然の保護と利用の好循環（地域に経済効果をもたらし、一層の自然環境の保全に再投資）を目指しています。

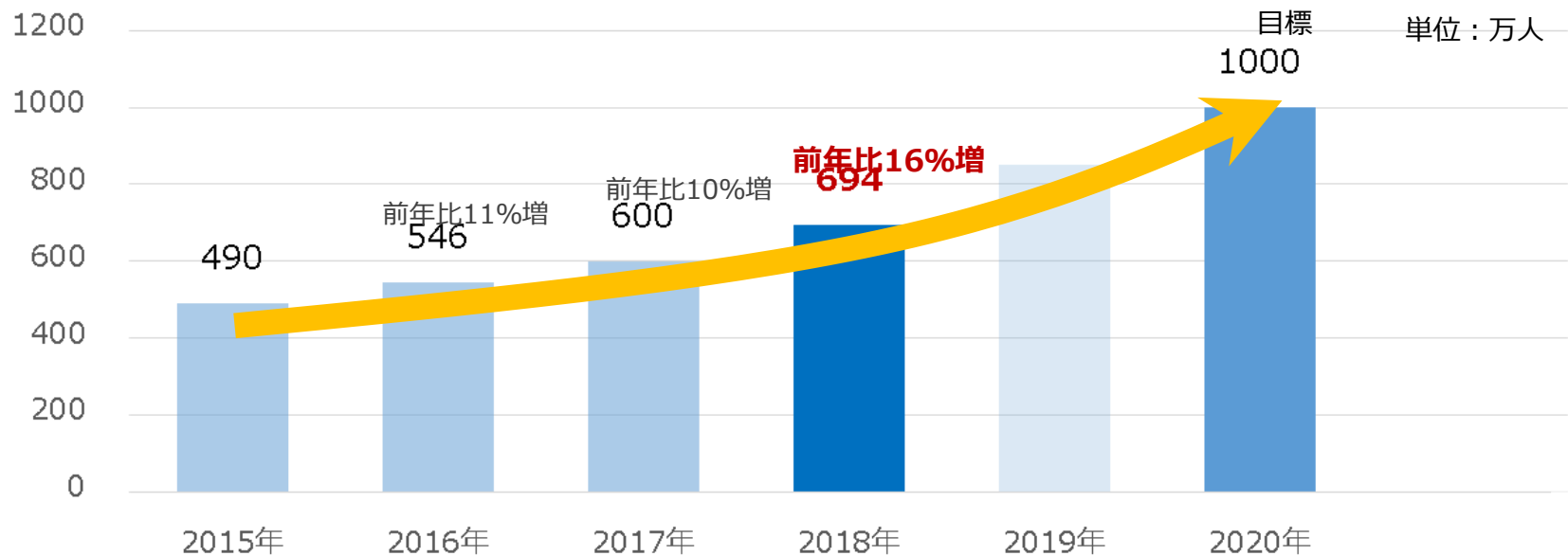
このため、利用者数だけでなく国立公園における消費額や満足度についても動向をとりまとめました。

1. 国立公園訪日外国人利用者数の推計結果
2. 国立公園の質の指標に係る調査結果



1. 国立公園の訪日外国人利用者数の推計結果

- 平成30（2018）年の国立公園の訪日外国人利用者数は694万人と推計。
- 国立公園全体で前年比94万人増（15.7%増）となり、国立公園満喫プロジェクト開始以来最大の伸び。 全国の訪日外国人旅行者数の伸び率（8.7%増）を上回る伸び。
- 北海道地域（利尻礼文サロベツ、知床、阿寒摩周、釧路湿原、大雪山、支笏洞爺）においては、北海道胆振東部地震等があったものの前年比19.5%増。一方で、近畿・中四国・九州北部の一部においては、前年と比べ減少している国立公園もあった。



2. 国立公園の質の指標に係る調査結果

- 先行的・集中的に取り組を行う8公園及び8公園に準じる3公園を訪問した訪日外国人利用者を対象に、満足度、旅行消費額、宿泊日数等についてアンケート調査を実施。
- 滞在全体の**満足度**は、7段階で最も高い**“大変満足”の割合が48.5%**（昨年度38.1%）となった。一方、“何とも言えない”“やや不満”、“不満”、“大変不満”を足した**不満寄りの割合は3.6%**（昨年度4.5%）となり、**全体的に満足度が向上**。
全般的に自然景観に評価が高く、多言語対応、交通、お土産、食事等が低い傾向。
- 国立公園内での**旅行消費額は66,496円**（昨年度67,239円）となり、大きな変化は見られていない。費目別には、“宿泊費（25,955円）”、“買い物費（12,316円）”、“飲食費（11,241円）”の順に多い。宿泊費は増加（昨年度16,147円）。
- **宿泊日数は、国立公園内で1.9泊**（昨年度1.2泊）、**周辺地域を含めて4.5泊**（昨年度3.5泊）となり、泊数がやや伸びている。
- 同一公園の来訪回数が**2回以上のリピーターは15.9%**（昨年度16.1%）。

※国立公園による地域経済への経済効果の分析についてはDMO等他の主体による調査結果と合わせ行うことが必要。

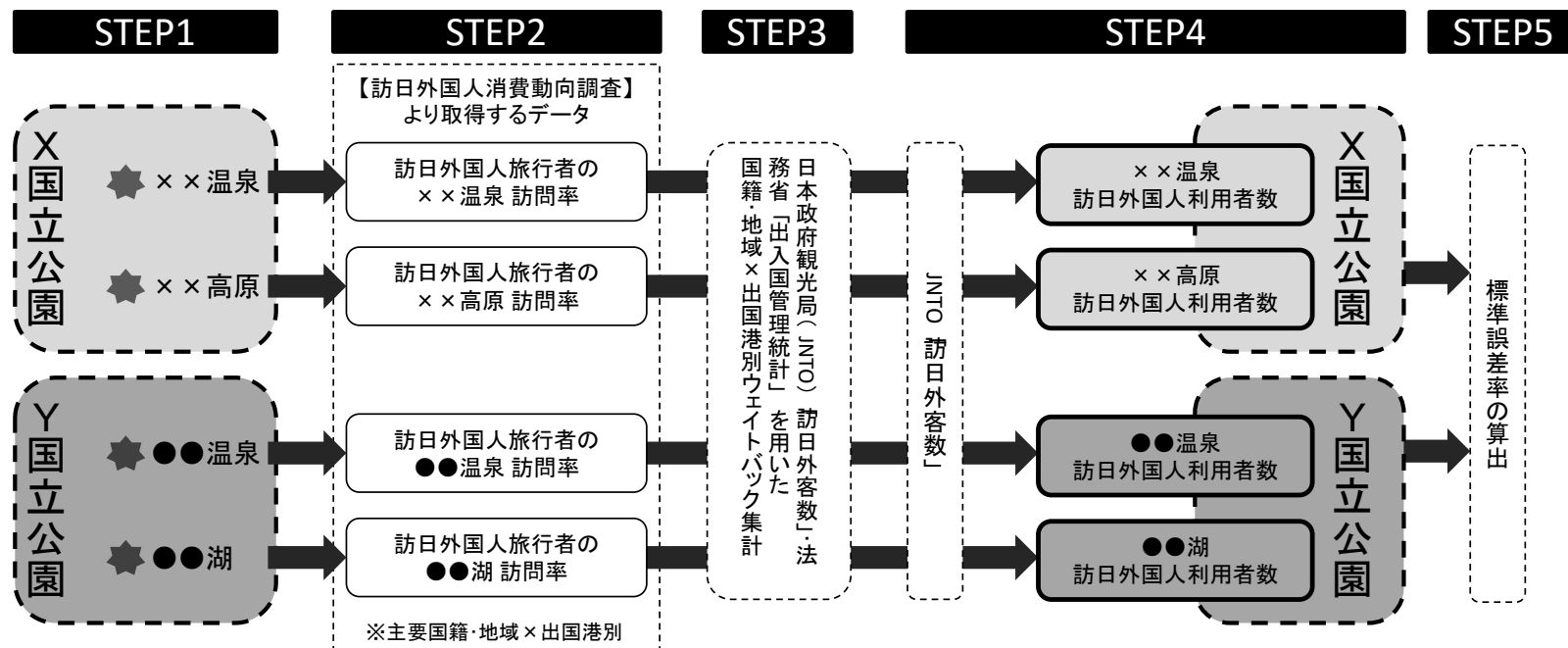
質の指標	2018年度	(2017年度)
1) 国立公園滞在の満足度（“大変満足”の割合）	48.5%	38.1%
2) 国立公園での旅行消費額	66,496円	67,239円
3) 国立公園内及び周辺地域における宿泊日数	4.5泊	3.5泊
4) 同一公園のリピーター率	15.9%	16.1%

※2017年度調査結果は先行8公園、2018年度調査結果は支笏洞爺、中部山岳、富士箱根伊豆を加えた11公園のもの。その他、調査時期や手法が異なるため、単純な比較ができない点に留意が必要。

(参考) 国立公園の訪日外国人利用者数の推計方法について

(1) 推計方法

- ①訪日外国人消費動向調査の「訪問地選択肢コード」のうち、国立公園内の観光地等を抽出（680の訪問地選択肢コードのうち139を抽出）
- ②訪日外国人消費動向調査における訪問地ごとの選択率（当該訪問地の回答数／有効回答数）を算出。
- ③訪日外国人の母集団構成に合わせるため、上記②について国籍・地域別及び出国港別ウェイトバック*を実施（平成29年以前は国籍・地域別ウェイトバックのみ。）。
*日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数」及び法務省「出入国管理統計」をウェイトとして使用。
- ④JNTO「訪日外客数」の総数に、上記③のウェイトバック後の選択率を乗じ、推計。



(注)「訪日外国人消費動向調査(全国調査)」について

- ①調査対象者：日本を出国する外国人（滞在期間1年未満）
- ②調査地点：17空海港の国際線搭乗待合ロビー
※新千歳空港、函館空港、仙台空港、東京国際空港（羽田）、成田国際空港、小松空港、富士山静岡空港、中部国際空港、関西国際空港、広島空港、高松空港、福岡空港、鹿児島空港、那覇空港、関門（下関）港、博多港、厳原港
- ③目標サンプルサイズ：1四半期当たり7,830票
- ④調査方法：外国語会話可能な調査員による聞き取り調査

(2) 推計方法の課題・留意点と推計・公表に当たっての工夫

- ①訪問地の回答数のわずかな差で推計値が大きく変動する可能性がある（特に、当該回答数が小さい国立公園の推計の場合）
→全公園の推計値の一覧において、推計値の幅（95%信頼区間）を記載。推計値と実感の乖離を埋める工夫をした。あわせて、実感との乖離を埋めるとともに、各公園における現状・傾向の分析に資するよう、「宿泊旅行統計調査」にもとにした国立公園内の外国人の延べ宿泊者数の推計値を参考として併記した。
- ②「訪日外国人消費動向調査」の調査対象空海港が少ない場所（例えば、山陰地方）において補捉率が低くなっている可能性がある。
- ③「訪日外国人消費動向調査」における「訪問地選択肢コード」が必ずしも国立公園の範囲を網羅していない。
→平成31年開催の第10回国立公園満喫プロジェクト有識者会議での指摘を受け、集計する訪問地コードを再度精査し、平成30年推計において、有馬温泉（兵庫県）、下関（山口県）、門司（福岡県）を追加した。

※本推計は、基本的に、国立公園全体の傾向を把握するための指標として活用するものであり、各国立公園や地域の動向分析には、DMO等各地域における調査の実施・活用をすることが望ましい。

(参考) 国立公園の質の指標に係る調査(2018)の実施概要について

a) 実施手法

- **先行8公園**（阿寒摩周、十和田八幡平、日光、伊勢志摩、大山隠岐、阿蘇くじゅう、霧島錦江湾、慶良間諸島）**及び8公園に準じる3公園**（支笏洞爺、中部山岳、富士箱根伊豆）において実施
- **モバイル方式**（現地で観光客自身がスマホ等で回答）および**紙調査票方式**（現地留め置き）
- 各公園の状況に応じて、両方式を組み合わせる実施
- 言語は、日本語・英語・韓国語・中国語（繁体字・簡体字）に対応

b) 実施時期

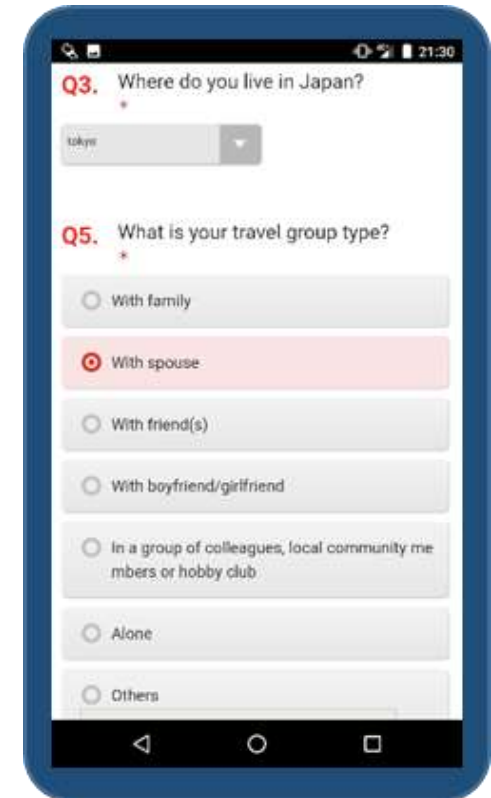
- 2018年 5月より順次実施～2019年 2月まで
※支笏洞爺・中部山岳・富士箱根伊豆は6月下旬～7月より順次実施

c) アンケート回収数

- 外国人 3,848票 ※ 日本人/外国人は、日本語/外国語での回答を指す。
- 日本人 7,526票

d) 調査項目

- 公園訪問の内容
活動／訪問箇所／**支出額**／**宿泊日数**／**訪問回数** 等
- 訪問に対する意識
満足度（7段階）／満足（自由記述）／改善点（自由記述）等
- 回答者属性
性・年代／職業／世帯収入／同行者／訪日回数 等



国立公園訪日外国人利用者数の推計について

参考

当推計は、観光庁「訪日外国人消費動向調査(全国調査)」の調査票情報を利用し推計したもの、具体的な推計手順は以下のとおり。
①訪日外国人消費動向調査の「訪問地選択肢コード」のうち、国立公園内の観光地等を抽出(680の訪問地選択肢コードのうち139を抽出)
②訪日外国人消費動向調査における訪問地ごとの選択率(当該訪問地の回答数/有効回答数)を算出。
③訪日外国人の母集団構成に合わせるため、上記②について国籍・地域別及び出国港別ウェイトバック*を実施(平成29年以前は国籍・地域別ウェイトバックのみ。)
*日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」及び法務省「出入国管理統計」をウェイトとして使用。
④JNTO「訪日外客数」の総数に、上記③のウェイトバック後の選択率を乗じ、推計。

公園名	訪日外国人利用者数										(参考)推計外国人延べ宿泊者数(千人泊)		
	H27		H28		H29		H30				H29	H30	前年増減 (%)
	推計実利用者数 (千人)	標準誤差率 (%)	推計実利用者数 (千人)	標準誤差率 (%)	推計実利用者数 (千人)	標準誤差率 (%)	推計実利用者数 (千人)	前年増減 (%)	標準誤差率 (%)	(参考)推計実利用者数 (95%信頼区間) *2(千人)			
1 利尻礼文サロベツ	5	31.6%	14	21.1%	10	26.9%	13	35.5%	26.6%	6 ~ 20	0.07	0.05	-31.3%
2 知床	21	15.4%	28	14.5%	20	18.7%	38	84.3%	15.8%	26 ~ 49	2	3	31.9%
3 阿寒摩周	63	8.9%	58	10.2%	57	11.2%	58	2.4%	12.7%	44 ~ 72	102	130	27.7%
4 釧路湿原	34	12.0%	27	15.0%	39	13.5%	42	8.1%	15.0%	30 ~ 54	0.03	0.07	180.0%
5 大雪山	64	8.8%	83	8.5%	60	10.9%	80	32.5%	10.8%	63 ~ 97	109	111	1.4%
6 支笏洞爺	688	2.6%	827	2.7%	901	2.8%	1,068	18.4%	2.9%	1,006 ~ 1,129	1,517	1,405	-7.4%
7 十和田八幡平	7	26.7%	22	16.6%	19	19.5%	29	55.8%	17.9%	19 ~ 40	55	74	33.6%
8 三陸復興	10	22.4%	16	19.2%	15	21.6%	13	-14.8%	26.9%	6 ~ 20	0.6	0.2	-65.3%
9 磐梯朝日	0.5	100.0%	4	39.4%	9	27.4%	6	-36.7%	39.6%	1 ~ 11	23	24	3.2%
10 日光	190	5.1%	241	5.0%	271	5.1%	304	12.2%	5.5%	271 ~ 337	72	93	29.9%
11 尾瀬	-	-	2	53.2%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12 上信越高原	214	4.8%	265	4.7%	322	4.7%	341	5.7%	5.2%	306 ~ 376	74	71	-3.5%
13 秩父多摩甲斐	19	16.2%	22	16.5%	10	26.7%	11	12.4%	29.0%	5 ~ 18	5	5	-11.0%
14 小笠原	-	-	0	133.5%	-	-	2	-	72.4%	0 ~ 4	-	-	-
15 富士箱根伊豆	2,341	1.4%	2,577	1.4%	2,580	1.6%	2,991	15.9%	1.7%	2,892 ~ 3,090	1,792	2,325	29.8%
16 中部山岳	338	3.8%	351	4.1%	382	4.3%	376	-1.5%	5.0%	339 ~ 413	123	106	-14.1%
17 妙高戸隠連山	8	24.2%	6	32.5%	13	23.4%	14	9.4%	25.7%	7 ~ 21	56	35	-36.5%
18 白山	3	40.8%	1	66.3%	2	68.3%	4	147.4%	49.8%	0 ~ 7	0.5	6	1246.4%
19 南アルプス	-	-	1	93.6%	2	57.2%	1	-69.0%	117.9%	0 ~ 2	0	0	0.0%
20 伊勢志摩	33	12.2%	61	9.9%	76	9.7%	49	-35.6%	13.9%	36 ~ 62	80	82	2.5%
21 吉野熊野	53	9.7%	59	10.1%	67	10.3%	63	-5.9%	12.2%	48 ~ 78	93	61	-34.3%
22 山陰海岸	32	12.4%	50	10.9%	43	12.8%	41	-5.5%	15.1%	29 ~ 53	82	82	0.0%
23 瀬戸内海	296	4.1%	310	4.0%	387	4.3%	676	75.0%	3.7%	627 ~ 725	223	210	-5.6%
24 大山隠岐	6	28.9%	14	20.8%	11	25.5%	5	-57.0%	44.7%	1 ~ 9	13	9	-30.8%
25 足摺宇和島	0.5	100.0%	5	35.4%	5	38.3%	1	-85.9%	117.3%	0 ~ 2	8	4	-44.0%
26 西海	55	9.5%	74	9.0%	56	11.3%	45	-18.9%	14.4%	32 ~ 58	0.09	0.1	49.8%
27 雲仙天草	28	13.2%	29	14.4%	25	16.8%	23	-10.4%	20.4%	14 ~ 32	17	10	-40.5%
28 阿蘇くじゅう	682	2.7%	675	2.9%	926	2.7%	1,034	11.7%	3.0%	974 ~ 1,094	298	356	19.5%
29 霧島錦江湾	71	8.3%	79	8.7%	129	7.4%	142	10.7%	8.1%	120 ~ 165	86	91	5.5%
30 屋久島	10	22.4%	17	19.0%	25	16.8%	17	-31.7%	23.4%	9 ~ 25	0.3	2	583.3%
31 奄美群島					6	35.0%	2	-73.0%	77.3%	0 ~ 4	0.2	0.1	-20.4%
32 やんばる			-	-	-	-	22	-	20.8%	13 ~ 31	4	5	-38.3%
33 慶良間諸島	-	-	-	-	-	-	27	-	18.5%	18 ~ 37	31	47	50.8%
34 西表石垣	12	20.4%	14	20.8%	14	22.7%	32	129.5%	17.2%	21 ~ 42	28	58	107.2%
合計(選定された8公園 *3)	1,052	-	1,150	-	1,488	-	1,649	10.8%	-	1,574 ~ 1,724	737	882	19.7%
合計(各公園計)	5,284	0.8%	5,932	0.9%	6,482	0.9%	7,569	16.8%	1.0%	7,425 ~ 7,713	4,895	5,407	11.8%
合計(推計実利用者数)	4,902	0.9%	5,457	0.9%	6,001	1.0%	6,940	15.7%	1.0%	6,800 ~ 7,080			
訪日外客数全体 *4	19,737	-	24,039	-	28,691	-	31,192	8.7%	-	-			

…年ごとの上位10公園

…参考値 *5

(訪日外国人利用者数の推計値についての注意点)
*1 推計実利用者数:当該国立公園を訪れた実際の利用者数の人数。1人の利用者が同一公園内の複数地点を利用しても1人と数える。また、合計(選定された8公園)及び合計(各公園計)は、1人の利用者が2つの公園に訪れると2人と数え、合計(実利用者数)は、1人の利用者が複数の公園を訪れても1人と数える。千人単位で四捨五入している。
*2 95%信頼区間:同じ母集団の標本調査を100回行うと、そのうち95回はこの区間の中に母平均が含まれる。
*3 国立公園満喫プロジェクトにおいて先行的・重点的に取組を進めるとされた公園、阿寒摩周国立公園、十和田八幡平国立公園、日光国立公園、伊勢志摩国立公園、大山隠岐国立公園、阿蘇くじゅう国立公園、霧島錦江湾国立公園、慶良間諸島国立公園。
*4 訪日外客数全体:出典:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」
*5 標準誤差率が30%以上の公園については、サンプル数が少なく信頼性が低いので、参考値とする。取り扱いには十分注意し、転載や二次使用する際には、信頼性の低い参考値であることを明記し、その旨を理解して使用すること。(特に、「訪日外国人消費動向調査」の調査対象空港が少ない場所においては、捕捉率が低くなっている可能性がある。)

※平成29年以前の「慶良間諸島国立公園」及び「やんばる国立公園」は、「訪日外国人消費動向調査」の訪問地選択肢コードに該当する地点が無かったため、推計対象外。
※平成27年の「尾瀬国立公園」「小笠原国立公園」「南アルプス国立公園」、平成29年の「尾瀬国立公園」「小笠原国立公園」及び平成30年の「尾瀬国立公園」は、標本数が0(欠損)のため推計不可として扱った。
※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

(推計外国人延べ宿泊者数(参考)についての注意点)
※延べ宿泊者数:当該国立公園内の宿泊施設の利用者数の合計人数(子供や乳幼児を含む)。1人の利用者が複数の宿泊施設を利用すると重複して計上される(例:1人の利用者が3つの施設を利用すると3人泊)。
※「尾瀬国立公園」及び「小笠原国立公園」は、標本数が0のため推計不可として扱った。
※この推計は、「宿泊旅行統計調査」(観光庁)のデータを利用し推計したもの。推計にあたっては宿泊旅行統計で用いられている母集団名簿の内、国立公園区域内に含まれている宿泊施設を抽出して実施した。このため、特に国立公園区域内に存在する宿泊施設が少ない国立公園については、地域の宿泊実態との誤差が大きい可能性がある。
※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

国立公園満喫プロジェクト 世界水準の「ナショナルパーク」を実現するために

「最大の魅力は自然そのもの」「高品質・高付加価値のインバウンド市場の創造」 訪日外国人の国立公園利用者数 490万人(2015年)→1000万人(2020年)に
(2016年:546万人、2017年600万人、2018年694万人)

ステップアッププログラムの策定

平成28年7月：世界水準の「ナショナルパーク」の候補として先行8公園を選定

先行8公園

阿寒摩周 大山隠岐	十和田八幡平 阿蘇くじゅう	日光 霧島錦江湾	伊勢志摩 慶良間諸島
--------------	------------------	-------------	---------------

12月：公園毎に地域協議会によりステップアッププログラム策定

先行8公園における成果を水平展開(H29.11開始)
※特に利用者数の多い国立公園(富士箱根伊豆/支笏洞爺/中部山岳)に重点

プロジェクト全体の中
間評価とりまとめ
(H30.7)
ステップアッププログラ
ム改訂(H31.2)

世界水準の「ナショナルパーク」に向けたブレークスルー

上質な宿泊施設の誘致

- 日光ではH32のラグジュアリーホテル開業に併せて幅広い層の受入環境を整備
- 日光、大山隠岐にて民間と連携し、外国人旅行者のニーズにあったキャンプ場にリニューアル予定



ビジターセンター等公共施設の民間開放

- 伊勢志摩の英虞湾を望む直轄展望台に民間カフェを導入
H30年8月カフェオープン
- 阿寒摩周のビジターセンターにてH30年8月よりカフェコーナー試験営業開始



自然の質を向上させるための新たな仕組みの導入

- 慶良間諸島で入島時の環境協力税を徴収し、国立公園の環境保全に活用中
- 大山隠岐にて保全協力金付きオオサンショウウオ観察ツアーを実施



景観の磨き上げと快適な利用環境の整備

- 大山隠岐にて廃屋を撤去(H29年7月完了)し、カフェや物販機能を有する施設を整備(H30年5月オープン)
- 日光にて景観改善のため無電柱化を実施中
- 各国立公園において、ユニバーサルデザイン(多言語化等)による利用施設の整備を促進



体験プログラムの充実と受入体制の強化

- 先行8公園において、地元自治体やツアー事業者等からなるWGを立ち上げ、コンテンツのブラッシュアップを行う「ファムトリップ」を実施。
- ファムトリップの成果等も踏まえ、モデルコースを含む「日本の国立公園コンテンツ集(日・英)」を作成。旅行会社等とのマッチングや、OTAへの掲載等を支援。
- 外国人のニーズも踏まえたガイドやコーディネーターを育成する研修プログラムを実施。地域の自走に向けた取り組みを支援。



国内外への強力な情報発信

民間の知見の活用と連携

- 国立公園オフィシャルパートナー(ANA、JAL、JTB、KTCホールディングス、サントリー等61社)との連携協力により、空港や航空機、列車内等での国立公園の魅力の発信等を実施



公式SNSの開設、海外メディア等の活用

- Instagram及びフェイスブック公式アカウントにおいて、現地レンジャーから、公園の感動を発信。
- インスタミート等、SNSユーザーの参加による国立公園のPRキャンペーンを展開
- 海外メディア(National Geographic)へ記事を掲載
- JNTOグローバルサイト内に国立公園の情報サイトを設置・公開(H31年2月)
- JNTOグローバルサイトのNews & Releaseに各公園の情報を順次掲載、JNTO公式SNSと連携した動画の配信等を実施中
- 海外メディアに向けた、8公園の情報メールマガジンを定期的に配信(H31年2月～)
- メディア等で二次利用可能なドローン動画をウェブ公開中



旅行博参加、セミナー開催

- ツーリズムEXPOに8公園及び利用者数の多い3公園が出展するとともに、JNTO主催の海外バイヤーとの商談会に参加し、国立公園のコンテンツ事業者とのマッチングを支援

【令和元年度国際観光旅客税による事業】
国立公園のインバウンドに向けた環境整備

① 訪日外国人の満足度を向上させる国立公園の磨き上げ

利用拠点の滞在環境の上質化



アイヌ文化の魅力を感じられる利用拠点のまちなみ（阿寒摩周国立公園）

- ・民間商業施設等の導入を前提とした廃屋撤去、文化資産への興味を喚起するまちなみ改善、インバウンド対応等による利用拠点エリアの刷新

多言語解説の整備・充実

- ・ICT等を活用した自然観光資源等の分かりやすい多言語解説の充実



携帯でコードを読み取ると多言語で解説を読み上げるUni-voiceを使用（Wi-Fi環境が不要）

野生動物観光のコンテンツづくり推進



釧路湿原野生生物保護センター（傷ついたオオワシ等を保護）

オランウータン保護施設（マレーシア）の事例
<http://www.u-tour.jp/wp/kuching/semenggoh-wildlifecenter/>

- ・全国各地で保護施設の観光客への公開を含むインバウンド野生動物ツアー（ナイトツアーを含む）を造成

ビジターセンターのインバウンド対応機能強化とVR等を活用した展示の充実



- ・予約機能を備えたツアーデスクにおいて、自然を満喫できるアクティビティ等の情報を一元的に多言語で提供
- ・最新デジタル技術を活用し国立公園の理解を深めることにより、国立公園深部の利用を促進

② インバウンドに向けた新たなプロモーション

予約まで一気通貫可能な国立公園一括情報サイト構築



（一括情報サイトのイメージ）
利便性の高いニュージーランド政府観光局ウェブサイト

- ・JNTOグローバルサイト（約27%が訪日時の情報源として使用）内に、全国の国立公園のモデルルートや体験アクティビティを掲載

新宿御苑における国立公園の情報発信強化



- インフォメーションセンター前にデジタルサイネージの設置
- 日本地図にタブレットをかざすことで、各公園の特徴や絶景を放映
- ・年間250万人の来苑者の約半数が外国人である新宿御苑を、VR等を用いた全国の国立公園の情報発信拠点に刷新
- ・全国からの植物等が集まる新宿御苑において、自動案内アプリ活用した苑内ツアーを実施